

ダイワ へら浅ダナ・チョウチンバトル 2016 in ひだ池

開催日 2016年11月5日(土)
開催場所 愛知県豊田市 ひだ池

天候 晴れ



平地でも木々が色好きはじめた11月5日(土)、愛知県豊田市にある中京地区の人気のへら釣り場ひだ池で「ダイワ浅ダナ・チョウチンバトル in ひだ池」が開催されました。高速道路のインターから近く交通の便も良いことから中京地区は勿論、関西や静岡のへら師にもなじみのある池ということもあって広範囲から参加者が集まっていただきました。

天候はまさに秋晴れというにふさわしい快晴。しかし朝の冷え込みは一桁台の厳しさの中、受付を終わった参加選手達は各棧橋へと入っていきます。今回は縦に伸びる2本の棧橋の内向き、お互い向かい合うスタイルをとり、2名並んで1席空けという十分なスペースの中、第1ラウンドは事務所から奥側の選手が浅ダナ・手前側の選手がチョウチンからのスタートとして競技が行われました。



秋晴れの中、選手達は準備に余念ありません。

AM7:15、木立の影で薄暗い中のスタート。予想通りの冷え込みで朝の活性は低い中、朝日がさしてきた釣り座の選手から徐々に竿が曲がります。朝一の時間帯は短竿のチョウチンの選手が先行します。浅ダナの選手達はセット釣りの下ハリスを50cm以上にとって軽いクワセをゆっくり落とし込む戦略の選手がポツポツ拾うという渋い展開。

全体に「ウキは動くけど決めアタリが出ない…」「謎のカラツン」に悩まされる選手達が続出する中で決め手に欠けるまま時間は過ぎ第1ラウンドが終了。

45分の休み時間には「兆」をはじめとしたダイワ最新ロッドの貸し出しなどもあり、後半に向けてお昼ご飯を食べながら情報交換する姿が各所でみられ、和気藹々とした雰囲気の中で釣り方を変えて第2ラウンドスタート。

風も無く気温も20度近くまで上昇し、各選手第1ラウンドよりはウキに動きが出ており、特に後半チョウチンで段底を選択した選手が1kg以上の良型を含めて竿を絞る姿が目立った。

そんな中、一人盛期を思わせるようなウキの動きで北陸から参加されている72歳のベテラン川端選手が良いペースで竿を絞る。

しかも釣り方は参加選手がハリスを伸ばしたウドンセットで苦戦する中、得意の短竿チョウチンの両ダンゴ！



日差しが出てくるとあちこちで竿が立ちます。

「ペレ匠ダンゴ」をベースとした軽目のエサでへらを追わせ、豪快なツンだけでなくトメやアゲなどの細かなアタリも確実に捕らえる技を披露してくれました。

そして大会終了…。

終わってみれば、各選手厳しい状況の中粘り強く数を重ねて大接戦の結果。表彰式の後のお楽しみ抽選会も盛り上がり、楽しい秋のイベントとなりました。

熱い関西・中部のへら釣りファンの皆様、またの参加をお待ちしています！



順位	氏名	総重量(kg)
優勝	川端 貢	18.2
2位	横田 静夫	15.9
3位	濱島 勇	15.5
4位	小寺 則之	14.8
5位	中村 明	13.6
5位	工藤 敏太郎	13.6